

袋井市立聖隷袋井市民病院改革プラン 点検及び評価報告書

平成30年度



令和元年8月
袋井市

目 次

1	平成30年度事業概要	1
(1)	概況	1
(2)	診療の状況	1
(3)	収支の状況	1
(4)	建設改良の状況	1
2	平成30年度事業実績	2
(1)	患者数の推移	2
(2)	紹介患者数の推移	2
(3)	入院患者紹介元医療機関の状況	2
(4)	常勤職員数の推移	3
(5)	経常収益・経常費用・経常収支比率の推移	3
(6)	材料費・経費の推移	4
(7)	入院収益・外来収益の推移	5
3	経営の効率化	6
(1)	経営指標に係る数値目標の状況	6
(2)	目標達成に向けた具体的な取組方針と結果	6
4	資料	11
1	袋井市病院事業会計収支状況	11
2	指定管理者（聖隷福祉事業団）収支状況	13
3	主な経営数値の推移（グラフ）	14

1 平成30年度事業概要

(1) 概況

平成30年度は、5か年の指定管理期間の開始の年にあたり、前指定管理期間の経験を生かし運営の安定化を進めるとともに、地域医療機関との連携を深めたり袋井商業高校との協働イベントを開催したりするなど、地域に根差した病院としての取り組みを進めた年となりました。

平成30年1月から新たに医師1名が着任し常勤医師5名の体制となり、同年3月からは回復期リハビリテーション病床50床を稼働し全病床計150床の入院体制が整ったことで、開院以来、初めて年間を通じた全病床稼働が実現し、多くの市民ニーズに応えることができました。

また、地域包括ケアシステムの医療分野の拠点として、他機関との連携を深めるとともに、地域の高等学校やボランティアなど幅広い市民との交流を深める取り組みも積極的に進めました。

外来では、市内診療所の充実や一部休診などの影響により、前年度と比べて患者数、収益とも減少しました。一方、入院では、患者数、収益とも前年度を上回る結果となり経営の安定化に大きく寄与しました。

こうした結果、聖隷福祉事業団会計では昨年、一昨年に続き、予算を上回る収益が確保されたことから、市からの運営補助金が一部返還されることとなりました。

(2) 診療の状況

《入院》

延患者数は44,381人で、1日当たり患者数は121.6人となりました。前年度と比較して1,402人(3.3%)の増加、1日当たりでは3.8人の増加となりました。

《外来》

延患者数は15,433人で、1日当たり患者数は63.3人となりました。前年度と比較して1,175人(7.1%)の減少、1日当たりでは4.8人の減少となりました。

(3) 収支の状況

袋井市病院事業会計の総収益は1,657,282,406円、総費用は1,619,160,831円となり、収益費用差し引きでは38,121,575円の純利益となりました。(金額は税抜きで表示)

また、資本的収支は、収入額287,900,001円、支出額353,463,021円となり、不足額65,563,020円(税込額81,802,900円)は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんいたしました。

(4) 建設改良の状況

資産購入では、緊急時対応体制や効率的な事務環境の充実を目指し、器械備品を新たに購入しました。また、3月には設備更新工事が完了し、各病室で細かく室温調節ができるなど、患者個々のニーズに合わせた環境を提供することができるようになりました。

2 平成30年度事業実績

(1) 患者数の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(プラン)	平成30年度(実績)	対プラン 増減
入院患者数	35,761	42,979	44,530	44,381	△149
入院1日平均患者数	98.0	117.8	122	121.6	△0.4
病床利用率(%)※	72.8	85.3	81.3	81.1	△0.2
外来患者数	17,840	16,608	16,104	15,433	△671
外来1日平均患者数	73.4	68.1	66	63.3	△2.7

※病床利用率は平成30年2月までは137床、3月以降は150床で計算しています。

【平成30年度実績】

入院、外来とも患者数はプランの目標数値を下回りまわっています。特に外来患者数については、市内診療所の充実が図られたことや診療科目の一部に休診期間が生じたことなどから前年度実績、プランの目標数値ともに下回るものとなりました。

外来患者数を診療科目別で見ると、前年度と比べて内科では164人・リハビリ科では56人の増加となった一方で、脳神経外科では485人・整形外科では910人それぞれ減少となっています。

(2) 紹介患者数の推移

(単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	対前年度比
紹介患者数	930	957	969	890	△79

【平成30年度実績】

紹介患者数は減少したものの、プランでは指標とはしていない逆紹介患者数は平成29年度の874件から、平成30年度には993件と増加しているなど、地域の診療機関との連携は深まっています。

(3) 入院患者紹介元医療機関の状況

(単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	対前年度比
中東遠総合医療センター	118(50.2%)	274(64.8%)	285(61.8%)	369(69.9%)	84
磐田市立総合病院	35(14.9%)	70(16.5%)	91(19.7%)	78(14.8%)	△13
袋井市内開業医	32(13.6%)	22(5.2%)	41(8.9%)	45(8.5%)	4
その他医療機関	50(21.3%)	57(13.5%)	44(9.6%)	36(6.8%)	△8
合計(人)	235	423	461	528	67

【平成30年度実績】

中東遠総合医療センターと磐田市立総合病院からの紹介が全体の85%程度となっ

ており、周辺急性期病院の後方支援機能を着実に果たしていることを示しています。特に中東遠総合医療センターからの紹介数の割合が70%近いものとなっており、連携が深まっていることを示しています。

また、レスパイト入院や外来受診から直接入院される患者数も増加しています。

(4) 常勤職員数の推移 (※常勤職員数のみ掲載)

(単位：人)

	平成25年度 (開院時)	平成26年度 (4月1日)	平成27年度 (4月1日)	平成28年度 (4月1日)	平成29年度 (4月1日)	平成30年度 (4月1日)	平成31年度 (4月1日)	対前年度比
医師	1	2	2	4	4	5	5	0
看護師、准看護師	16	21	31	48	61	70	73	3
看護助手、介護福祉士	0	2	14	21	25	28	28	0
薬剤師	2	2	2	3	3	5	3	△2
臨床検査技師	2	2	2	2	2	2	2	0
放射線科技師	2	2	2	2	3	3	2	△1
理学療法士	2	5	7	14	18	19	22	3
作業療法士	2	3	5	8	12	16	17	1
言語聴覚士	0	0	1	3	4	4	3	△1
管理栄養士	1	1	1	1	1	2	3	1
事務職員	6	7	11	15	15	16	19	3
合計	32	47	78	121	148	170	177	7

【平成30年度実績】

聖隷福祉事業団において積極的な人材確保に努めたことにより、年々常勤医や看護師、療法士等医療スタッフの充実が図られています。平成30年度においても、全体としてプランの目標数値を超える実績となっています。人件費の経常収益に対する比率もプラン数値を上回る数値を示しています。

(5) 経常収益・経常費用・経常収支比率の推移

【袋井市病院事業会計】

(単位：円)

		平成29年度(実績)	平成30年度(プラン)	平成30年度(実績)	対プラン増減
経常 収益	医業収益	1,196,901,210	1,269,000,000	1,298,029,898	29,029,898
	医業外収益	364,906,331	339,000,000	357,344,509	18,344,509
	計	1,561,807,541	1,608,000,000	1,655,374,407	47,374,407
経常 費用	医業費用	1,529,616,966	1,582,000,000	1,578,105,731	△3,894,269
	医業外費用	14,803,529	19,000,000	37,351,294	18,351,294
	計	1,544,420,495	1,601,000,000	1,615,457,025	14,457,025
経常収支比率(%)		101.1	100.4	102.5	2.1

【平成30年度実績】

平成30年度は医療スタッフの充実、全病床（150床）を活用した入院体制の運用などの結果として入院延患者数が増加し、医業収入が増加しました。

一方、医業費用の増加は診療報酬交付金と減価償却費の増が大きな要因となっております。経常収支比率は、プランの数値や平成29年度の実績を上回っており、経営の安定化を示しています。

【聖隷福祉事業団会計】

(単位：円)

		平成29年度(実績)	平成30年度(プラン)	平成30年度(実績)	対プラン増減
経常 収益	医業収益	0	0	0	0
	その他収益	1,389,310,974	1,384,000,000	1,429,003,518	45,003,518
	計	1,389,310,974	1,384,000,000	1,429,003,518	45,003,518
経常 費用	医業費用	1,327,454,541	1,379,000,000	1,364,862,921	△14,137,079
	その他費用	1,877,301	1,000,000	1,534,221	534,221
	計	1,329,331,842	1,380,000,000	1,366,397,142	△13,602,858
経常収支比率(%)		104.5	100.3	104.6	4.3

【平成30年度実績】

入院患者数、外来患者数ともプランの数値を下回ったものの、診療報酬の改定などの影響もあり収益は目標値を上回りました。

一方、費用については、在庫管理の方法等に工夫を加えて様々な効率化を図る取り組みに加え、人件費の抑制、材料費、委託料等の節減に努めた結果、費用全体をプランの数値よりも圧縮することができました。

医療スタッフの確保に向けた取り組みや、新型機器の導入などにより、医業収益は着実に増加しています。結果、病院事業会計も聖隷福祉事業団会計も経常収支比率も持続可能な経営を実現するための指標である100%を超える状況を維持しています。安定した医療を提供しつつ収益性も高める種々の取り組みが進んでおり、2期目の指定管理期間の初年度にあたる平成30年度も、前指定管理期間に引き続き持続可能な病院経営を展開しています。

(6) 材料費・経費の推移

(単位：円)

	平成29年度(実績)	平成30年度(プラン)	平成30年度(実績)	対プラン増減
薬品費	38,183,902	34,130,000	44,582,777	10,452,777
診療・療養材料費	29,262,437	22,936,000	27,874,458	4,938,458

【平成30年度実績】

薬品費:幅広い疾患への対応のため、骨粗鬆症治療薬・抗リウマチ薬・心不全治療薬、抗てんかん薬、腎性貧血治療薬など多様な薬品の使用により、薬品費が増大しました。

診療・療養材料費:プランの数値は上回りましたが、価格交渉や在庫の適正化により、前年度実績は下回りました。

(7) 入院収益・外来収益の推移

(単位：円)

	平成29年度(実績)	平成30年度(プラン・予算)	平成30年度(実績)	対プラン(予算)増減
入院収益(税込) 予算比	1,054,049,846	1,247,000,000	1,154,525,728	△92,474,272
1人1日当たり収益	24,525	25,000	26,014	1,014
外来収益(税込) 予算比	100,933,682	98,360,000	96,910,892	△1,449,108
1人1日当たり収益	6,077	6,520	6,279	△241

【平成30年度実績】

入院においては、1人1日当たり収益は診療報酬の改定などによって増加していますが、患者数が目標数を下回ったため、収益も目標数値を下回っています。

外来については、患者数・1人1日当たり収益ともに目標数値を下回っています。市内の診療機関の充実と一部外来にて部分的に休診した期間が発生したことが要因であると考えられます。

3 経営の効率化

(1) 経営指標に係る数値目標の状況

		平成29年度(実績)	平成30年度(プラン)	平成30年度(実績)	対プラン増減
経常収支比率 (%)	市	101.1	100.4	102.5	2.1
	聖隷	104.5	100.4	104.6	4.2
医業収支比率(市)(%)		78.2	80.2	82.3	2.1
人件費(聖隷)(千円)		1,002,677	1,086,404	1,056,757	△29,647
経常収益比率(%)		72.2	78.5	73.5	△5.0
薬品費(聖隷)(千円)		38,184	34,130	44,583	10,453
経常収益比率(%)		2.7	2.5	3.1	0.6
診療・療養材料費(聖隷)(千円)		29,262	22,936	27,875	4,939
経常収益比率(%)		2.1	1.7	2.0	0.3
1日当たり入院患者数(人)		117.8	122	121.6	△0.4
1人1日平均入院医療費(円)		24,525	25,000	26,014	1,014
病床利用率(%)		85.3	81.3	81.1	△0.2
1日当たり外来患者数(人)		68.1	66	63.3	△2.7
1人1日平均外来医療費(円)		6,077	6,520	6,279	△241
患者紹介率(%) [紹介初診/初診]		37.4	33	37.5	4.5
在宅復帰率(回復リハ)(%)		85.5	60	87.4	27.4
受託検査件数(件)		298	307	290	△17
常勤医師数(人)※		5	6	5	△1
看護師数(人)※		67	58	67	9
医療技術職数(人)		46	46	48	2
患者満足度(%)	93.3	93.3	96	-	-
	98.8	98.8	98	-	-

※医療スタッフの実績値は、各年度末の数値。


(2) 目標達成に向けた具体的な取組方針と結果


プランに掲げた19項目の取り組み方針に対し、どのように取り組んだのか内容を示すとともに、市及び指定管理者にて自己評価を行った。

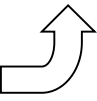
【評価結果】

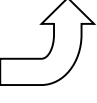
目標達成	・・・	5件 (26.3%)	効果上昇	・・・	7件 (36.8%)
実施継続	・・・	7件 (36.8%)	要改善	・・・	0件 (0%)

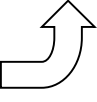
ア 経費削減・抑制に向けた取り組み


取組方針	取組内容	評価
聖隷福祉事業団の他病院と連携し、スケールメリットを活かした共同購入(医薬品・診療材料)を推進します。	事業団内の各施設で使用している物品を調査し、定期的の使用物品の見直し、見積り合わせを実施しました。	 実施継続

取組方針	取組内容	評価
適正な医薬品・診療材料の在庫管理により、在庫を抑制します。	毎月棚卸を実施するとともに、定期的に各職場から使用していない物品の回収を行っています。余剰物品や使用期限間際のもの関連病院に交換を依頼するなど、スケールメリットも生かした適正な在庫管理に努めています。	 実施継続







取組方針	取組内容	評価
適正な人員配置により人件費の上昇を抑制します。	人件費は対前年度比5.4%増でしたが、予算額の91.7%に抑制することができました。また、経営指標である経常利益は、対前年度比4.3%増となりました。人件費を抑制し、利益を増加させることで、経営改善を進めることができました。	 効果上昇

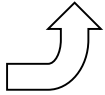
取組方針	取組内容	評価
業務改善の推進により時間外勤務手当を削減します。	働き方改革の推進とともに各職場で業務の効率化を進めました。改善結果は、衛生委員会で情報共有され、病院全体の活動となっています。1人あたりの時間外勤務時間は対前年度比で8%削減されました。 ○平成29年度実績 13.8時間(月間) ⇒平成30年度実績 12.8時間(月間)	 効果上昇

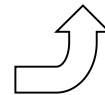
取組方針	取組内容	評価
省エネ活動を推進し、エネルギーコストを削減します。	毎月の全体朝礼での光熱水費の消費量の報告など従来から進めていた職員の意識改革を行っています。また、施設全体の省エネにつなげられるよう、市事業として空調・給湯施設を更新、重油によるボイラーから電気に動力転換しました。	 効果上昇

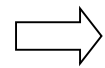
取組方針	取組内容	評価
既存委託業務について見直しを行い、競争入札により費用を抑制します。	引き続き、年度更新の際に、委託業務実施業者の見直しを行いました。最低賃金上昇に伴い値上げ要請がありましたが、業務内容の見直しにより前年と同様の水準となりました。	 実施継続

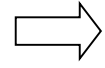
イ 収入増加・確保に向けた取り組み

取組方針	取組内容	評価
許可病床をフル稼働できる体制整備を早期に実現します。	平成30年3月から許可病床150床の稼働が続けられています。	 目標達成
医療療養病床の施設基準「入院基本料20対1」を早期に取得します。	看護師および看護助手の必要数を満たしているため、平成29年2月より「20対1」の施設基準を取得しています。また、基準を継続するため、毎週開催している採用ミーティングに加え、学校訪問(大学、専門学校、高校等)を行いました。 ○平成30年度実績 訪問施設:3校	 目標達成
休日リハビリテーション提供体制加算施設基準を早期に取得します。	平成29年9月より休日リハビリテーション提供体制加算施設基準を取得しています。	 目標達成
上部消化管内視鏡検査を開始します。	平成29年1月から上部消化管内視鏡検査を実施しています。また、聖隷福祉事業団保険事業部が市から受託している胃がん検診精密検査、胃がんリスク検診の精密検査を継続して実施しています。 ○平成29年度実績 56件 ⇒平成30年度実績 68件	 目標達成
嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査を開始します。	平成29年4月から嚥下造影検査(週1回)、嚥下内視鏡検査(週1回)を実施中。順調に稼働しています。	 目標達成
地域連携パスの稼働率の向上を図り、紹介件数を増やします。	平成27年度より、静岡県西部広域地域連携パス(大腿骨頸部骨折及び脳卒中)へ参加しています。院内のクリニカルパス委員会にて地域連携パス患者受け入れ体制を整備しています。 また、患者・スタッフ双方に対して効率的な医療の推進のため、医療者用パス(大腿骨近位部骨折【人工骨頭置換術、骨接合術】)を作成し、平成29年4月より稼働しています。平成30年度は前年度と比べて、パス利用患者は16名増加しました。 ○平成29年度実績 委員会7回・利用者35名 ⇒平成30年度実績 委員会6回・利用患者51名	 効果上昇


取組方針	取組内容	評価
地域診療所からの紹介患者を積極的に受け入れます。	<p>地域診療所、介護・在宅事業所との連携体制を強化するため、平成29年11月より退院支援部門「退院支援室」を設置し、紹介・逆紹介の推進に努めています。</p> <p>また、入退院支援プロジェクトを毎月開催することで現状の課題や体制について検討し、紹介・逆紹介件数の増加、連携医療機関の拡大につなげています。</p> <p>○平成29年度実績 紹介受入件数461件(病院、診療所全て含む) ⇒平成30年度実績 紹介受入件数528件(病院、診療所全て含む)</p>	 効果上昇


取組方針	取組内容	評価
MRI・CT等、医療機器の受託検査数の増加を図ります。	<p>平成29年3月に共同利用の件数増を目的に委託撮影であっても迅速な読影レポート作成システム(遠隔読影システム)を整備しました。</p> <p>迅速な読影レポート作成のニーズが高いため、平成30年4月より連携施設増に向けた開業医への訪問活動を行っています。</p> <p>○平成29年度実績 受託検査件数 298件 ⇒平成30年度実績 受託検査件数 419件</p>	 効果上昇


取組方針	取組内容	評価
診療報酬改定についての情報を収集し、適正かつ確実に対応します。	診療報酬改定に関連するセミナー等に参加し情報収集を行っています。	 実施継続

取組方針	取組内容	評価
市民が受診しやすい病院となるよう、診療体制の周知とホームページや広報誌「コスモス便り」などによる情報発信の充実に努めます。	病院の機能や診療内容について、病院ホームページ及び広報誌「コスモス便り」などで情報発信しました。平成30年度には市の広報に特集記事を掲出し、市民病院として果たしている役割などについて情報発信したほか袋井商業高校など外部の団体とも協力し、幅広く情報発信を行いました。	 実施継続

ウ 人材確保・離職防止に向けた取り組み

取組方針	取組内容	評価
医師及び看護師の確保のため、聖隷福祉事業団の他病院との連携や人材情報の収集に努め、採用情報等を積極的に発信するとともに、働きやすい環境の整備を推進します。	聖隷福祉事業団内の病院事務長会及び看護責任者会で医師及び看護師の採用情報共有を行いました。看護師は、聖隷袋井市民病院の職場環境が評価され、聖隷他病院からの異動希望者が増加し、採用活動が好転しています。	 実施継続

取組方針	取組内容	評価
専門医研修施設としての場を提供し、研修医の受け入れを行います。	平成29年4月から開始された新専門医制度における「静岡広域病院連携リハビリテーション科専門医養成プログラム」、「聖隷三方原病院内科専門研修プログラム」、「浜松医科大学医学部附属病院総合診療専門研修プログラム」の連携施設となっています。 ○平成29年度実績 受入研修医師数 1名 ⇒平成30年度実績 受入研修医師数 2名	 効果上昇

取組方針	取組内容	評価
採用情報の積極的な発信を行うほか、医師紹介会社の活用など継続した医師確保に取り組めます。	各病院とも医師の確保が厳しい状況である中、医師紹介会社を活用し情報提供を進めています。また、聖隷福祉事業団内の医師への働きかけも行っております。	 実施継続

【資料1】

袋井市病院事業会計収支状況

1. 収支計画（収益的収支）

（単位：百万円、％）

年度		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	30年度	対プラン
区分		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(プラン)	(実績)	増減
収	1. 医 業 収 益 a	204	457	664	967	1,197	1,269	1,298	29
	(1) 料 金 収 入	204	457	664	967	1,197	1,269	1,298	29
	(2) そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益	357	401	362	355	365	339	357	18
	(1) 他会計負担金・補助金	340	339	317	314	313	288	280	▲ 8
	(2) 国（県）補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) 長期前受金戻入	0	12	11	10	10	11	10	▲ 1
	(4) そ の 他	17	50	34	31	42	40	67	27
	経 常 収 益 (A)	561	858	1,026	1,322	1,562	1,608	1,655	47
入	1. 医 業 費 用 b	544	824	991	1,297	1,529	1,582	1,578	▲ 4
	(1) 職 員 給 与 費 c	7	10	8	8	9	9	9	0
	(2) 材 料 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) 経 費	519	776	917	1,219	1,455	1,458	1,473	15
	(4) 減 価 償 却 費	18	35	66	70	65	115	96	▲ 19
	(5) そ の 他	0	3	0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 費 用	6	14	8	8	15	19	37	18
	(1) 支 払 利 息	0	3	3	3	3	6	2	▲ 4
	(2) そ の 他	6	11	5	5	12	13	35	22
	経 常 費 用 (B)	550	838	999	1,305	1,544	1,601	1,615	14
出	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	11	20	27	17	18	7	40	33
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0	2	2
	2. 特 別 損 失 (E)	0	6	5	5	2	7	4	▲ 3
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	▲ 6	▲ 5	▲ 5	▲ 2	▲ 7	▲ 2	5
純	損 益 (C)+(F)	11	14	22	12	16	0	38	38
累	積 欠 損 金 (G)	0	0	0	0	0	0	0	0
不良債務	流 動 資 産 (ア)	0	0	0	0	0	0	0	0
	流 動 負 債 (イ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額	0	0	0	0	0	0	0	0
	差引不良債務(オ) {(イ)-(エ)}-{(ア)-(ウ)}	0	0	0	0	0	0	0	0
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.0	102.4	102.7	101.4	101.1	100.4	102.5	2.0	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	37.5	55.5	67.0	74.6	78.3	80.2	82.3	2.0	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	3.4	2.2	1.2	0.8	0.8	0.7	0.7	2.1	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	0	0	0	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
病 床 利 用 率	52.9	68.1	75.9	72.8	85.3	81.3	81.1	▲ 0.2	

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (プラン)	30年度 (実績)	対プラン 増減
収 入	1. 企 業 債	565	308	66	0	200	0	218	218
	2. 他 会 計 出 資 金	25	25	25	25	25	25	70	45
	3. 他 会 計 負 担 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国 (県) 補 助 金	80	0	0	0	0	0	0	0
	7. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	670	333	91	25	225	25	288	263
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	670	333	91	25	225	25	288	263	
支 出	1. 建 設 改 良 費	486	474	76	0	211	0	219	219
	2. 企 業 債 償 還 金	0	0	18	108	119	131	151	20
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	支 出 計 (B)	486	474	94	108	330	131	370	239
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	▲ 184	141	3	83	105	106	82	▲ 24	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	0	141	3	83	104	106	82	▲ 24
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	1	0	0	0
計 (D)	0	141	3	83	105	106	82	▲ 24	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	▲ 184	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	▲ 184	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (プラン)	30年度 (実績)	対プラン 増減
収 益 的 収 支	(340) 340	(338) 339	(315) 317	(312) 314	(312) 313	(287) 288	(279) 280	(0) 0
資 本 的 収 支	(25) 25	(25) 25	(16) 25	(0) 25	(0) 25	(0) 25	(0) 70	(0) 0
合 計	(365) 365	(363) 364	(331) 342	(312) 339	(312) 338	(287) 313	(279) 350	(0) 0

(注)

1 ()内はうち基準外繰入金額を記入。

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

【資料2】

指定管理者 聖隷福祉事業団収支状況

1. 収支計画（収益的収支）

（単位：百万円、％）

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (プラン)	30年度 (実績)	対プラン 増減
収	1. 医業収益 a	0	0	0	0	0	0	0	0
	(1) 料金収入								
入	(2) その他 うち他会計負担金								
	2. 医業外収益	406	653	865	1,177	1,389	1,384	1,429	45
入	(1) 他会計負担金・補助金								
	(2) 国（県）補助金								
入	(3) 長期前受金戻入								
	(4) その他	406	653	865	1,177	1,389	1,384	1,429	45
入	経常収益(A)	406	653	865	1,177	1,389	1,384	1,429	45
支	1. 医業費用 b	438	673	833	1,128	1,327	1,379	1,365	▲14
	(1) 職員給与費 c	289	461	601	823	1,003	1,086	1,057	▲29
支	(2) 材料費	23	46	59	77	96	88	114	26
	(3) 経費	31	48	57	68	78	48	61	13
支	(4) 減価償却費	13	17	17	20	22	23	11	▲12
	(5) その他	82	101	98	140	128	134	122	▲12
支	2. 医業外費用	1	1	1	1	2	1	2	1
	(1) 支払利息	1	1	1	1	1	1	0	▲1
出	(2) その他	0	0	0	0	1	0	2	2
	経常費用(B)	439	674	833	1,129	1,329	1,380	1,367	▲13
出	経常損益(A)-(B)(C)	▲33	▲21	32	48	60	5	62	58
特別損益	1. 特別利益(D)	0	0	0	0	0	0	1	1
	2. 特別損失(E)	0	0	11	15	60	17	63	46
特別損益	特別損益(D)-(E)(F)	0	▲0	▲11	▲15	▲60	▲17	▲62	▲45
純	損益(C)+(F)	▲33	▲21	21	33	0	▲12	0	12
累	積欠損金(G)								
不良債	流動資産(ア)								
	流動負債(イ)								
務	うち一時借入金								
	翌年度繰越財源(ウ)								
差引	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(エ)								
	不良債務(オ) [(イ)-(エ)]-[(ア)-(ウ)]	0	0	0	0	0	0	0	0
経	常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	92.4	96.9	103.8	104.3	104.5	100.4	104.5	4.1
不	良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$								
医	業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職	員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$								
地	方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額(H)	0	0	0	0	0	0	0	0
資	金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$								
病	床利用率	52.9	68.1	75.9	72.8	85.3	81.3	81.1	▲0.2

※聖隷福祉事業団会計では、企業債や他会計負担金などに該当する項目がないため、「2. 収支計画（資本的収支）」は省略しております。

【主な経営数値の推移】

